

平成29年度指定管理者モニタリングシート（平成28年度実績）

1 施設等の概要				
施設名	東久留米市立生涯学習センター		所管課	教育部生涯学習課（内線3212）
指定管理者名	JN共同事業体（株式会社JTBコミュニケーションデザイン、野村不動産パートナーズ株式会社）		指定管理者所在地	東京都港区芝3-23-1
指定期間	平成27年4月1日～32年3月31日	利用料金制の有無	有・無	他自治体での指定管理者実績 中野区もみじ山文化センター、西東京市保谷こもれびホール、東大和市民会館ハミングホール
施設の設置目的	市民（子どもから成人まで様々な世代）の地域の文化・生涯学習の促進及び振興を図る。			
事業概要（サービスの概要、自主事業等）	施設の適正な維持管理・環境改善の実施 ホール事業（落語・クラシック音楽・ダンス等）を年10回程度開催。また、親子や子どものワークショップ、成人講座を多数開催している。			

※本施設は平成22年度より指定管理者制度を導入しており、当該事業者は平成22年度より本施設の指定管理者を実施している。

2 決算額及び利用状況											
市決算額	26年度	27年度	28年度	指定管理料 対前年度増減		指定管理料 過去3ヶ年の 平均決算額	利用人数(件)数			利用人数(件)数 対前年度比増減	
				28年度-27年度	27年度-26年度		26年度	27年度	28年度	28年度/27年度	27年度/26年度
指定管理料	85,538,000	82,940,000	83,807,000			84,095,000					
使用料	8,312,845	8,378,150	7,751,035	867,000	-2,598,000		158,793	150,009	132,579	88.4%	94.5%
成果配分金	1,908,733	3,043,029	3,212,506								

※指定管理料過去3ヶ年の平均決算額欄:指定管理者制度の導入から3年を経過していない場合は、指定管理者制度導入後からの平均決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

3 モニタリング評価		
評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	<公平性の確保>使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	5 4 3 2 1
	<事業等運営>新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	5 4 3 2 1
市民サービスの向上	<施設維持管理>設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	5 4 3 2 1
	<情報管理>個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	5 4 3 2 1
	<危機管理>事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	5 4 3 2 1
	<市民協働>地域住民と一体化した取り組みがなされているか	5 4 3 2 1
	<ノーマライゼーション>障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	5 4 3 2 1
	<モニタリング>利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	5 4 3 2 1
経費の節減など効率的な運営	<収支の改善等>利用者の増、経費の削減などの収支状況改善に向けた取り組みをしつつも、利用者にとって適正な運営をしているか	5 4 3 2 1
	<経費の妥当性>管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	5 4 3 2 1
	<再委託業務>再委託されている業務の範囲は適切か	5 4 3 2 1
	<環境対策>市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	5 4 3 2 1
安定的な施設サービスの継続的な提供	<サービスの信頼度>施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	5 4 3 2 1
	<職員の専門性、配置体制>職員の指導育成などが適正にされており、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	5 4 3 2 1
	<労働条件>職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	5 4 3 2 1
	<経営基盤>指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	5 4 3 2 1
施設の特性によるサービス提供 ※それぞれの施設における 事業計画書等を参考に、 評価の視点を設定する	<生涯学習活動の充実>学習活動の振興を図るために、関連情報の収集・提供、相談機会の提供を充実させているか	5 4 3 2 1
	<サービスの向上と運営の効率化>施設管理運営に対する利用者の満足度を調査・分析し、サービスの向上と運営の効率化を図っているか	5 4 3 2 1
	<地域との連携の強化>すべての市民を対象とした参加型事業を充実させるとともに、市内の公共施設・商業施設等との連携を強化しているか	5 4 3 2 1
	<新たな利用者の開拓と利用率の向上>ホールをはじめとする施設全体の利用率を増加させるとともに、登録団体数についても増加が図れているか	5 4 3 2 1
合計点数		61点/100点

※評価は、5(期待を大きく上回る)、4(期待以上)、3(期待通り)、2(期待をやや下回る)、1(期待を下回る)の5段階評価とし、3を標準とする。

4 評価点（現状と課題等を含む。）	
<p>*3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度は大規模修繕により2週間の全館休館、ホールの利用停止も3か月間あったため、年間を通しての利用件数及び利用人数は大幅に減少したが、日々の利用率は微増し市民の生涯学習の拠点としての認知度も向上している。 ・自主事業は成人・親子など幅広い事業を展開し好評を博している。番組の収録にも利用され、市の認知度向上にも貢献したが、自主事業についての広報の遅れや周知が不足することがあった。 ・施設の老朽化が著しいため、専門の技術者が定期巡回し、大規模修繕に関しては市と協力して、小規模なものに関しては都度補修を行うなど維持管理に努めている。 	

5 総合評価									
公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など効率的な運営		安定的な施設サービスの継続的な提供		施設の特性によるサービス提供	
・公平性の確保	C	・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など	B	・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など	C	・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など	D	・設定した評価の視点	C
									A期待大きく上回る B期待以上 C期待通り D期待やや下回る E期待下回る

平成29年度指定管理者モニタリングシート（平成28年度実績）

6 次年度以降に向けた方向性

*3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・大規模工事による利用件数及び利用人数の減少の回復に加え、更なる集客力アップを目指し、より広く市民に活用してもらえる施設になってもらいたい。そのためには魅力的な事業を展開するとともに、利用している市民との信頼・協力関係をさらに発展してより利用しやすくなるよう努めていきたい。
- ・平成28年度は自主事業の広報の遅れや周知不足が見られたため、集客及び周知方法について広報やまろにえホール通信、HPなどを活用し、広く発信するなどの創意工夫をしていただきたい。
- ・施設の維持管理については引き続き適正な管理を行うとともに、今年度予定されている小規模修繕の実施及び今後の修繕計画の策定についても市と協力して行っていただきたい。